

令和２年度 雇用創出・人材育成事業（素案）

１ 『北九州ゆめみらいワーク 2020』（主催：雇用政策課）への出展

<概要>

北九州地域で学び育った学生が、早い段階から仕事や学びについて考え、地元の魅力を知るイベント。生徒・学生が地元企業の仕事内容や地元大学等の研究等について直接体験することで、企業・大学等や市の魅力を知ってもらうとともに、職業観を醸成し、各自に合った職業選択と将来の地元就職につなげることを目的とするもの。

<参考>令和元年度募集 HP より

日時：8/23（金）～8/24（土） ※申込は5/31 まで

対象者：小中学生、高校生、大学生、保護者、教職員等

会場：西日本総合展示場

来場予定者数（H30 実績）：2 日間延べ 7,100 人（内、高校生が 3,700 人）

<検討課題等>

- ・将来を担う世代に対し PR を行うものであり、翌年以降すぐに求人効果が出るものではない。
- ・ポスター展示ではなく、体験型・実演型の展示が必要である。

２ 産廃処理業 PR リーフレット（その２）

- ・令和元年は、「処理業」に着目したリーフレットを作成する予定のため、次年度は「処理業で働く人」に着目したリーフレットを作成し、2 つ併せて小冊子として PR してはどうか。

<検討課題等>

- ・「働く人」の選定が、特定企業だけの PR とならないよう配慮が必要。

3 地元企業 PICK UP!（主催：若者ワークプラザ）を活用した産廃業界の説明

<概要>

若者ワークプラザに求人票を出している企業※が、仕事の内容や社員、職場の雰囲気などの話を、地元での就職を希望する概ね 40 歳までの求職者等に対して直接話し、マッチングの機会とするもの。業界・職種研究の一環としての参加も可。

※業界団体等による説明会も可能（但し個別企業からの説明無し）。

この場合、求職者が興味を持った個別企業に対しては、カウンセラーを通じて顔つなぎを行う。

<参考>令和元年 7 月開催分 HP より

対象者：概ね 40 歳までの若年求職者

料 金：無料

定 員：20 名

<検討課題等>

- ・事前に、個々の産廃業者が若者ワークプラザに対して求人票を提出すること。
⇒同時期に複数の産廃業者が求人募集するのか。
- ・求職者が興味を持った産廃業者は、要望に応じて会社見学等の対応が必要。
- ・求人票の内容によっては、参加者が集まらない可能性があるが、最低 1 名の参加でも開催されること（HP をはじめ、LINE 登録者約 1000 名へ配信する等の集客案内有り）。

4 特別支援学校生等をターゲットとした、協会主導の就職合同説明会

<検討課題等>

- ・特別支援学校生（及び教師等）の産廃業界への興味（就職ニーズ）の確認
- ・参加企業の選定

5 事業者アンケート

平成 30 年 4 月～令和 3 年 3 月（見込み）の雇用創出者数について